

ABC工法

劣化スレート付着試験



踏み抜き防止足場（メッシュロード）使用
ピーリング試験



バッファークート施工例



バッファークート施工例



ABC工法標準仕様（ABC-100）

| 工程 | 使用材料 | 標準塗量 kg/m ² | 稀釈率 % | 回数 回 | 塗重時間 20℃ | 塗装方法 | |
|----|------|--|----------|---------|-------------|-------|--------------|
| 1 | 下地調整 | 1) スレート面のこぶ状の異物は除去する（研磨・高圧洗浄は絶対しないこと） 2) フック部とワレ部やカケ部は下塗り後シリコンシーラントで補修処理する 3) スレートの踏み抜きのないよう最善の処置をする。（専用足場メッシュロード使用） | | | | | |
| 2 | 下塗 | ASブロッカーF | 0.4~1.0 | 0 | 1~2 | 24H以上 | スプレー・刷毛・ローラー |
| 3 | 中塗 | バッファークート 10 | 0.3~0.4 | 0~5 | 1 | 4H以上 | ローラー・ハケ |
| 4 | 上塗 | バッファークート 10 | 0.3~0.4 | 0~5 | 1 | | ローラー・ハケ |

- (1) 塗料使用上の注意事項については、製品説明書及び SDS を参照とする。
 (2) 上記の数字はすべて標準のもので、施工方法、施工条件により各々変化する場合があります。

取扱い会社

アスベスト含有スレート類 固化改修システム

ABC 工法

ASブロッカーF バッファークート

株式会社クラタテクノシステム

〒179-0075 東京都練馬区高松 4-21-17

TEL03-3926-4010 FAX03-6763-9411

<http://www.kurata-techno.com/>

ABC 工法

(アスベスト・ブロック・コーティング工法)

高度成長期に建設された工場などの屋根や壁面の材料として含アスベスト波型スレート・コロニアルなど(石綿含有波型)は安価で耐久性が良く多くの建設に大量に使用され続けました。

2005年にクボタ旧神崎工場での従業員や周辺の住民から公害による肺がん・肺気腫の被害が報じられ多くの会社は対応を迫られることとなり大きな社会問題に発展しています。

政府も「**石綿による健康被害の救済に関する法律**」が成立いたしました。

工場の老朽化と漏水対策として波型スレートへの補修工事が多くなり一般的に劣化した面を高圧水性な後塗料により仕上げていました。

しかしこの高圧水洗の排水に大変多くのアスベストが含まれていることが判明事態は急変いたしました。塗装のための下地調整工程高圧水洗が従来の様には出来なくなってしまったのです。一般の住宅も改修申請が不可欠でアスベスト処理には費用と手間が掛かり従来の下地処理方法が出来なくなりました。

令和3年3月からさらに国交省から指示で対応が厳しくなっています。

さらに大きな工場の大面積の屋根からアスベストが飛んできては
いないかと近隣住民からの不安の声が企業に届き対応をせざるを得なくなり緊急に工事をした例などが多く有ります。

アスベスト含有スレートの改修方法として現在行われている
手段として現在は以下の3工法が代表的工法です。

- ① 全面的にカラー鉄板など金属製の物でカバーする。(カバー工法)
構造計算で耐荷重性(10 kg/m²以上の可能性あり補強が必要になる)
既設スレートへの取り付けのための穴あけ作業が環境省の規定で穴あけは被ばくに相当する為通常での作業は不可。
- ② 表面を特殊樹脂で固めて(封じ込め)塗装する(コーティング工法)
有機質(ウレタン又はポリウレタン・エポキシ樹脂など)での固化工法が有るが可燃性であり問題である、また耐久性に限度がある。
- ③ 全面的撤去は完全に囲い密室状態で解体・残材は専用袋に入れて溶融する。
作業者は完全な装備が不可欠・工場はストップ・作業中は出入り禁止となる。
解体費用は莫大になり時によっては被爆となる事がある。

これらを解決した「AS ブロッカーF」+「バッファーコート」

ABC 工法

(アスベスト・ブロック・コーティング)

この工法の大きな特徴は劣化して表面に浮きだしたアスベスト・カビ・堆積物などを特殊樹脂で強固に固化・密着させることが最も重要な性能である。

AS ブロッカーF の開発とシリコン樹脂バッファーコートの組み

合わせで完成したシステムが今回開発された塗布型の軽量・施工性・耐久性を併せ持つ新しい防水・防錆を兼ね備え安全性を考慮して画期的な足場のメッシュロードを使用して安全かつ簡易的に出来る ABC 工法 です。